

東日本大震災特集

みんなの力を東北へ!!

3月11日午後2時46分に発生した「東日本大震災」。市内でも多くの被害の報告がありました。その後、被災地への緊急支援物資の提供や、被災された方の受け入れなど、市をあげての復興支援が実施されました。また、多くのイベントの中止や予定変更がありました。



被害状況

●一般住宅など816棟に被害発生

住宅や店舗、倉庫などの建物被害については、渋川地区で1棟が半壊したほか、全地区で一部破損が815棟発生しました。

建物以外の被害件数は、人的被害(重症者)2人、がけ崩れなど11件、公共施設の破損40件、水道の断水など約600軒(3月12日復旧)、停電約8,000世帯(3月12日復旧)、道路・橋りょうなどの損害18件でした。また、地震発生当日に9人が避難所へ一時避難しました。



震災による崖崩れ



震災で崖崩れが発生した棚下不動

●屋根瓦落下被害の見舞金

「渋川市災害見舞金支給要綱」に基づいて、現在住んでいる住宅の屋根瓦が、地震によって損壊した人に、災害見舞金が支給されました。

- 屋根瓦落下の被害が屋根全体の50%未満の住宅= 1万円
- 屋根瓦落下の被害が屋根全体の50%以上の住宅= 2万円



住宅屋根瓦破損

原発関連

●公共施設で放射線量の測定を行っています

東京電力福島第一原発の事故に伴う放射性物質の影響を見るために、小・中学校や幼稚園などの公共施設で放射線量の測定を行っています。結果は市のホームページなどでお知らせしています。



放射線の測定

イベントの中止・延期

●イベントの中止・延期

- 総合公園さくらまつり・夜桜ライトアップ中止
- 第11回白井宿八重ざくら祭り中止
- 小野上温泉まつり中止
- 沼尾川親水公園・赤城キャンプ場の臨時営業中止
- 道の駅こもち10周年記念感謝祭延期
- 「花と緑のぐんまづくり2011in渋川・花と食のまちなか会場」秋に延期

支援物資・復興支援

●被災地に緊急支援物資を送りました

市では、東日本大震災の被災地で、市が災害援助協定などを締結している4自治体(福島県白河市、茨城県水戸市・ひたちなか市・茨城町)などに、救援依頼に基づいて支援物資を送りました。

- 福島県白河市/ペットボトル水(2ℓ×6本入)200箱、非常用水運搬袋3,000枚
- 茨城県水戸市/毛布250枚、ブルーシート80枚
- 茨城県ひたちなか市/毛布250枚、ブルーシート70枚
- 茨城県茨城町/アルファ米2,000食
- 岩手県遠野市/寝具、タオル、血圧計など約3,800点
- 宮城県東松島市/タオル、マスクなど約2,000点
- 宮城県亘理町/寝具、タオルなど約1,000点
- 宮城県石巻市/消防ポンプ車(中古)1台

●茨城県日立市に給水車とともに職員を派遣

3月15日から18日まで被災地(茨城県日立市)に対して、給水車とともに職員を派遣し、給水活動を行いました。

●救援物資の提供

救援物資の受付を3月19日から4月28日まで実施し、延べ800件余りの物資を提供していただきました。

【指定品目】

- タオル 28,682枚
- バスタオル 1,413枚
- タオルケット 603枚
- シーツ 813枚
- 毛布 686枚
- 寝具(敷布団) 83枚
- 寝具(掛布団) 327枚



善意により集められた救援物資

【指定外品目】

下着類、衣料品、畳、ござ、ランドセル、洗剤、紙類、暖房器具、マスク、手袋、デジタル血圧計、食料品、紙オムツ、生理用品、カイロ、ひげそり、歯ブラシ他

●避難所で市の名産品などを振る舞いました

4月24日に市職員17人を福島県二本松市の避難所に派遣して、炊き出しの支援活動を行いました。献立は「渋川産しらたきと赤城ポーク、野菜の煮込み料理」「こんにやくのおでん」「浅漬け」「まんじゅう」「赤城地区のイチゴ」の5種類。避難所で生活している約200人に配りました。

また、6月2日には、福島県田村市の避難所で生活している約230人に昼食の炊き出しを行いました。



二本松市での炊き出し

●農産物や花の苗の即売で被災地を応援

4月17日と24日、JA北群渋川とJA赤城たちばなどの共催により、渋川ネイブルスクエアで「被災地支援即売会」が行われました。渋川産の野菜詰め合わせセットなどが義援金の募金を受けて、配布されました。



被災地支援即売会

●義援金の受付

市役所本庁舎と各総合支所で、義援金を平成24年3月30日まで受け付けています。1月31日現在の義援金総額は、3,641万11円です。

教育・文化・スポーツの振興



■学校給食共同調理場施設設備整備事業

学校給食共同調理場施設の老朽化に対応するため、市内3カ所に新しい施設を整備していきます。

■赤城公民館建設整備事業

赤城公民館を取り壊し、新公民館を建設します。平成23年度末に設計を行い、解体工事、建設工事の順に事業を推進します。なお、完成は平成25年度の予定です。

■(仮称)北橋運動場整備事業

運動場の整備に取り組みます。平成23年度に設計を行い、平成27年度に完成する予定です。

道路・公共交通などの都市基盤整備



■橋りょう整備事業

本市における将来のまちづくりを見据え、新たな視点に立った橋りょう整備の実現化に向けた事業を推進します。利根川橋りょう2(赤城町敷島～中郷間)について工事を開始して、平成26年度の完成を目指します。

■(仮称)市道沼辺町田線外3路線道路改良事業(半田地内)

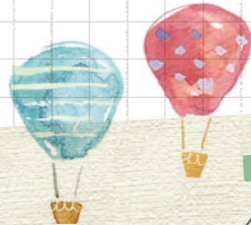
平成21年度の国道17号前橋渋川バイパスの暫定開通に合わせて、半田地内の国道17号西側市道の道路改良を行います。

これからの渋川市

「やすらぎ」とふれあいに満ちた
“ほっと”なまちを目指して、
こんなことを
実施していきます!

総合計画の8大施策から6分野について
主な事業を抜粋して紹介します。

健康・福祉の充実



■公立保育所整備事業

公立保育所の老朽化による施設整備に取り組みます。

■病院再編統合事業

地域医療の一層の充実を図るため、渋川総合病院と西群馬病院を再編統合し、新たな拠点病院を整備します。

自然環境の保全



■住宅用太陽光発電システム設置助成事業

住宅用の太陽光発電システム設置に対し、補助金を交付します。

産業の振興・活性化



■伊香保温泉再生事業

伊香保温泉の顔である石段街をふれあいと情緒ある温泉街の賑わいの場に再生し、在住者と来訪者に優しい、自然と温泉情緒とが調和した温泉保養地の創造を推進します。旧ハワイ公使別邸の移築と資料館の建設に取り組みます。

■花で包む未来の渋川推進事業

「花と緑のぐんまづくり2011in渋川」の開催を契機に、年間を通して市内のどこかで花を觀賞できる地域づくりを進めるための方策について、試行・検討を行います。

生活環境の充実



■深山・長井小川田地区農業集落排水施設建設事業

農業用水の水質保全、農業生産の向上、農村生活環境の改善のため、平成19年度から事業を開始してきましたが、平成23年度に事業区域を拡大(狩野々地区を追加)して、計画面積103ヘクタール、計画処理人口1250人として、平成28年度に事業を完了する予定です。

■防災行政無線デジタル化事業

6地区で整備状況が異なる防災行政無線の統合整備、機器のデジタル化、周波数の統合による一体的な管理に向けた整備を行います。

■流域関連渋川地区公共下水道建設事業

平成22年度に226ヘクタールの認可区域拡大を行って、渋川地区公共下水道全体の認可面積は892ヘクタールになっています。平成23年度から平成27年度までの事業期間5年間で、事業認可区域の管渠整備を実施します。